

昭和村だより

軽費老人ホーム 溪泉荘・特別養護老人ホーム 市原園
市原園ダイサービスセンター・市原園在宅介護支援センター
市原園居宅介護支援事業所・ <http://www.showamura.or.jp>

平成23年 3月号

〒290-0549

市原市万田野732番地6
社会福祉法人 昭和村
理事長 杉田 昭義
・Tel0436-96-1112

(社)千葉県安全運転管理協会主催の

「セーフティドライバーズちば2010」に

昭和村チーム(車輛・交通安全委員会 委員長佐久間貴弘)が初参加し、参加1,832チームの中から優良チーム(25チーム)に選ばれ、表彰状と副賞として2万円の商品券を受賞しました。

これは、10人でチーム編成し、H22/7/1～10/31までの123日間、安全運転の運動などに努め、全員で無事故・無違反を達成した成果です。

これからもずっと、職員全員で安全運転に努めて行きましょう。

<チーム参加職員名>

佐久間貴弘、花澤幸子、長谷川喜久、平田久夫、根本 久
相川和彦、関谷和子、小沢勝江、山田卓也、石澤幸代

軽費老人ホーム溪泉荘では、

平成22年度(第60回)「NHK歳末たすけあい」義援金の助成を受け、ナースコールの整備事業を完了しました。



その内容は、株式会社ケアコム製の製品で、商品名はハンディリモート副親機、4台の整備(金額194,250円)です。

溪泉荘には要支援・要介護の方々が多く入所しておられますので、ナースコールが毎日の生活の必需品です。

今回の整備品は、携帯型なので正確・迅速に対応が出来て、利用者からも安心感が増しましたと非常に喜ばれております。「NHK歳末たすけあい」に募金して下さった皆様に、心よりお礼申し上げます。

本当に有難うございました。

軽費老人ホーム溪泉荘の利用者の状況

<平成23年2月1日現在>

男性 34名 (平均年齢 79.9歳) (平均在所年数 6.2年) (最長在所者の年数 23年)
女性 66名 (平均年齢 83.7歳) (平均在所年数 5.0年) (最長在所者の年数 21年6か月)
全体 100名 (平均年齢 82.8歳) (平均在所年数 5.4年) (5年以上入所されている方 47名)

特別養護老人ホーム市原園に、

(財)日本船舶振興会(日本財団)より助成金!

平成23年3月4日、財団法人日本船舶振興会(日本財団)会長 笹川陽平 (〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル) より、2010年度助成金の交付を受けて、特別養護老人ホーム市原園(短期入所)の「車いす対応車(普通車)の整備(日産NV200バネット チェアキャブ)」が納車されました。

総事業費は、2,327,990円、**財団助成金額は、1,680,000円**でした。

(特)市原園の短期入所の定員は10名ですが、入院者のベットも空床型として短期入所に利用出来ますので、毎日平均で11～12名の利用者がおられます。その入退所の送迎は、施設の車輛で行いますが、毎日のように数名ずつおりますので、送迎車輛は短期入所にとってなくてはならない必需品です。

これからは、短期入所の送迎だけでなく、入所者の通院やレクリエーションドライブなど、安心して利用させて頂けるようになり、地域の人達の福祉の向上に大きく貢献出来るものと思います。

財団法人日本船舶振興会(日本財団)様に、心よりお礼申し上げます。 本当に有難うございました。

<特別養護老人ホーム市原園の短期入所の利用実績>

	H22/4	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H23/1月	2月
利用者	348人	367人	351人	362人	386人	329人	379人	352人	321人	322人	287人
利用率	116%	118%	117%	116%	124%	109%	122%	117%	103%	103%	103%

特別養護老人ホーム市原園の利用者の状況

<平成23年2月1日現在>

男性 9名 (平均年齢 84.4歳) (平均在所年数 2.0年) (最長在所者の年数 5年3か月)
女性 41名 (平均年齢 88.5歳) (平均在所年数 4.1年) (最長在所者の年数 27年6か月)
全体 50名 (平均年齢 87.8歳) (平均在所年数 3.7年) (5年以上入所されている方 15名)



3/4 納車になった日産バネット チェアキャブ

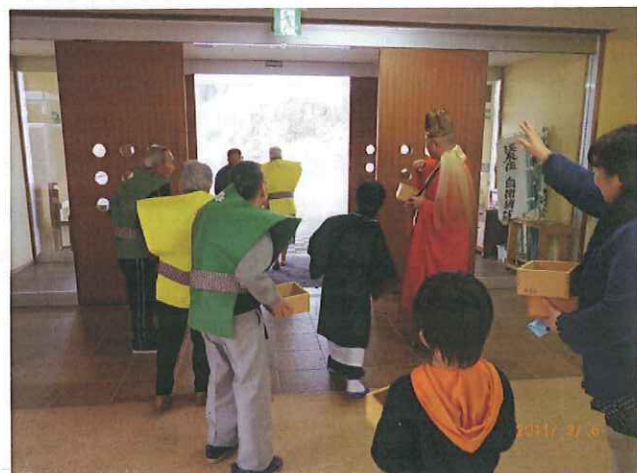


スロープタイプの車いす対応車(普通車)で車いす2名と一緒に介助者も隣に乗車出来ます。又、専用ストレッチャーやオートステップ装置も付いて、活躍が期待されます。



1/31(月)PM6:30～8:00 サービス向上・研修委員会(委員長 大野妙子)が中心となって企画をした(特)高滝神明の里との合同職員研修会は、市原市生涯学習課の生稲 勇先生を講師に「職員間の円滑なコミュニケーションについて」をテーマに、レクリエーションや身体を動かしながら楽しく賑やかに行われました。初めての人とも直ぐに打ち解けて、交流が出来るような研修内容でした。

神明の里22名、昭和村職員66名、そして昭和村の4月の新採用予定者も事前研修として参加して下さいました。新採用予定の方は、「事前に職員の皆さんと交流が出来て安心しました。参加させて頂いて本当に良かったです。」と感想を話していました。



2/6(日)PM2:00～ 節分会・仏教講話 今年も、寶林寺の千葉住職をお願いをし、面会に来ていたご家族の皆様も一緒に、大勢の方々の参加を頂いて賑やかに豆まきを行いました。

今年の年男・年女は、96歳が市原園で7名、84歳が溪泉荘で8名、市原園で1名、72歳はそれぞれ1名ずつおりましたので、全員が会場の最前列で住職より御祈禱して頂きました。



2/2(水)の地域の独居老人等への給食サービスのお弁当と市原園の行事食の日(1/26)の昼食です。



2/6(日)昼食時に、(特)市原園のさくら・つつじユニットの活動で、おにぎり・巻き寿司の実演食事が行われました。良く手を洗ってから、自分のおにぎりを自分で握って食べたりしました。職員が巻いた巻き寿司はワゴンサービスのバイキングで、普段あまり食欲の無い方もお代わりして食べていました。



(特)市原園の初詣は、近くの高滝神社に行きました。(1/27)

(軽)溪泉荘の皆さんは、鴨川の天津神明宮まで出掛けました。(1/27)

デイサービスは、久留里の円如寺に行きました。(1/28)



職員有志によるゴミ拾いボランティア活動の様子。(2/25)

環境美化委員会(委員長 相川安佐恵)では、毎年ボランティア活動として年数回県道万田野線のゴミ拾いを実施していますが、中々ゴミが無くなりません。そこで、委員会からの提案で「ゴミを捨てないでね!」の看板3枚を作りました。皆様のご協力をお願い致します。